

# 「島のサステナビリティとハワイアンスタディーズ」

担当教員名 西城戸誠・佐伯英子

## コース概要

日程	2016年9月1日～10日
場所	アメリカ合衆国ハワイ州
参加人数	14名

## コースのねらい

ハワイ（オアフ島）の「環境サステナビリティ」の現場（福祉農園・エネルギー、ゴミ処理、自然保護）と、「文化サステナビリティ」（ハワイアンカルチャー、日系人の文化）と、ハワイの社会問題（貧困、格差）を学び、ハワイ社会、環境のサステナビリティとの関連を学ぶ。また、英語でのコミュニケーションを実践的に修得する。

## 内容

ハワイは、日本人にとってとてもなじみの深い、海外の地域の一つであり、観光旅行で行ったことがある方も多いはず。しかし、このハワイフィールドスタディは、通常の観光では決して理解することができない、ハワイの姿とその魅力について体感することができます。このフィールドスタディの学びのコンセプトは、①オアフ島を舞台として、環境と文化のそれぞれの「サステナビリティ」と両者の関係を理解すること、②英語を使ってのコミュニケーション、異文化理解を深めるというものです。

事前学習では、『ハワイの歴史と文化—悲劇と誇りのモザイクの中で』（中公新書）、『観光コースでないハワイ—「楽園」のもうひとつの姿』（高文研）、『ハワイを知るための60章』（明石書店）を購読し、ハワイの歴史と現状について学びました。また、参加者各自が英語で自己紹介をしたり、訪問先で質問をすることができるように、英語の勉強も行いました。

ハワイでの行程は次の通りです。私たちは、ハワイ（オアフ島）の「環境サステナビリティ」の現場（福祉農園・エネルギー、ゴミ処理、自然保護）と、「文化サステナビリティ」（ハワイアンカルチャー、日系人の文化）と、ハワイの社会問題（貧困、格差）を学び、ハワイ社会、環境のサステナビリティとの関連を学びました。また、英語でのコミュニケーションを実践的に学び、英語でコミュニケーションを取ることの楽しさと大切さも同時に学びました。

- 1日目：ホノルル国際空港に到着後、Kapiolani Community College(KCC)に行き、オリエンテーションと英語の授業をした後、Self Defense workshop で護身術を英語で学びました。時差ぼけの中、体を動かすことで、体調を整えました。
- 2日目：オアフ島の西にある H-Power というゴミ処理発電所を見学し、観光業で成り立つハワイのゴミ問題の深刻さ、エネルギーを外部依存しているエネルギーセキュリティの問題、化石燃料に依存しないエネルギーのあり方などを学びました。また、Kafumana Farm という福祉農園でランチと見学を行い、Ko Olina リゾートの見学と海水浴も行いました。
- 3日目：ハワイ大学マノア校ハワイアンスタディーズでの実習場で、タロイモ畑の見学と農作業を行いました。月に1回の community day であったため、地元の住民や高校生などと一緒でした。午後は KCC で英語の講義を受けました。
- 4日目：ホースシヨアにある Waimea Botanic Garden に行き、ハワイの水環境に関するレクチャーを受けました。ハワイアンの伝統的な知識が、「科学的な知識」に通じるという意味で「Science」であることや、ハワイの環境サステナビリティと文化サステナビリティの交差する現場や実践を学びました。その後、古い町並みが残る Haleiwa 地区の散歩も行いました。
- 5日目：ハワイ大学マノア校・社会学部でハワイの貧困問題に関するレクチャーを受けました。ハワイ州はホームレスが多いこと、経済格差とその再生産の構造について学び、「負」のサステナビリティを考えることの重要性を知りました。

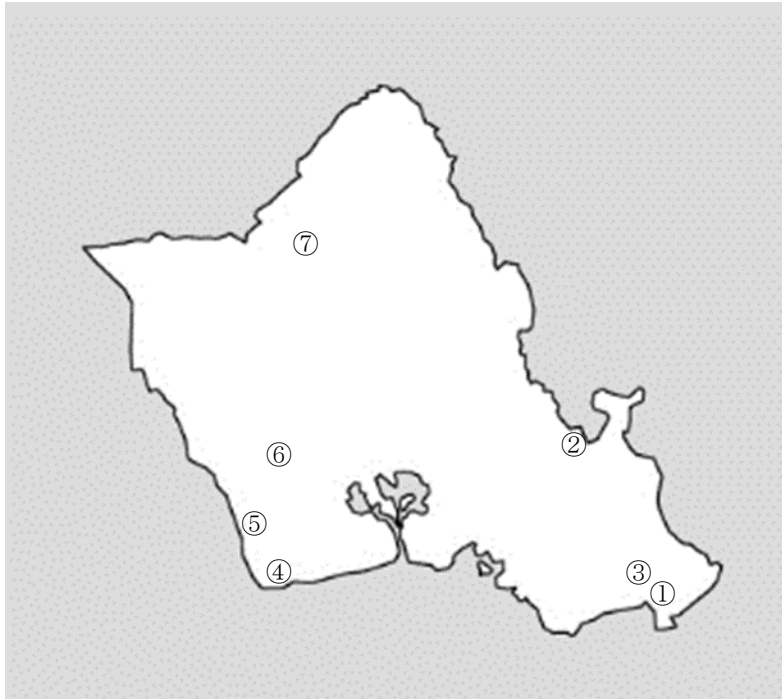


Fish pond 訪問（7日目）

6日目：午前中は英語の講義を受け、午後はハワイアンスタディーズ（Ho'okipa Me Ke Aloha Workshop）を受講しました。ハワイの歴史、ハワイアンルネッサンスなど、ハワイ文化のサステナビリティについて体を動かしながら学びました。また、夕方には、ハワイ浄土宗を訪問し、ハワイの日系人と宗教に関して学びました。

7日目：午前中に Kaneohe にある Fish pond（養殖池）を訪問し、Waimea 渓谷ータロイモ畑ーFishpond の繋がりである、アププアアに関する理解を深めました。午後は、再生可能エネルギーの普及に努める Blue Planet Foundation の講義を受けました。

8日目：英語の講義を受けた後、修了式ランチと授与式が行われ、参加者全員が KCC からプログラム修了書をいただきました。



- ①Kapiolani Community College
- ②University of Hawaii at Manoa
- ③Paepae o He'eia (Fishpond)
- ④H-Power
- ⑤Ko Olina Beach
- ⑥Kafumana Farm
- ⑦Waimea Botanic Garden



Waimea Valley での講義（4日目）

## 学習を終えて

私がハワイ FS に応募した理由はハワイの観光以外の側面を見たかったからです。ハワイは観光地というイメージしかなかったのですが、今回の FS でその認識がガラッと変わりました。ごみ処理発電所を訪れたりタロイモ畑やワイメア渓谷で自ら体験することを通じて、さらにハワイの人々と直接コミュニケーションをとってハワイの文化と生活、そして課題が見えてきました。観光ではなかなか行かない場所に訪れて貴重な体験をするとともに、知らなかったハワイの姿を見ることができました。（2年・横澤茉呼）

最初はハワイという地名に惹かれ、興味本位でこのハワイ FS に応募しました。しかしハワイという地は自然、文化、観光、環境問題、貧困など様々な要素が複雑に絡み合っていることを事前学習、また実際に現地を訪ねることで学ぶことができ、この FS に参加して本当によかったと思っています。他国を見ることで改めて、自国である日本についても考えさせられました。国内 FS とはまた違った魅力、発見がある海外 FS は私にとってとても貴重な経験になりました。先生方、FS 参加メンバー、そしてハワイで出会えた方々へ、Mahalo!（2年・水野麻衣）